

先導的ソリューション事例のケーススタディの要約

課題 アンケートより	ソリューション例 (調査対象機関)	概要	これ迄の下支え要因	実用化や普及に向けた課題			
				技術、ネットワーク	ビジネス基盤	利用者の意識、マナー	その他
災害時における迅速・正確な情報の共有化 (39.9%)	iモード災害用伝言板サービス (株)NTTドコモ	音声以外の通信手段(電子掲示板)を利用した災害時限定のサービス。災害が発生するとiモードに利用メニューが追加。被災地周辺の利用者は地震の安否情報を書込み、家族や友人、知人などは書き込まれた安否情報を電子掲示板を利用して確認する。	<ul style="list-style-type: none"> iモードの普及 音声通信とパケット通信の輻輳制御の高度化 				<ul style="list-style-type: none"> 災害用伝言サービスの認知度向上
診療記録、医用画像の保管と活用 (78.9%)	電子カルテシステム (株)亀田医療情報研究所	業務の効率化、医療の質と安全性の向上を目的に、診察記録を電子データで蓄積する。院内や医療機関間での情報共有や患者が自分の診察記録を自由に閲覧することが可能になる。	<ul style="list-style-type: none"> 医師法に基づく診察記録が電子記録として認定(平成11年度) 大容量のデータが送信可能なブロードバンドの普及 	<ul style="list-style-type: none"> 医療従事者にとって使いやすいユーザインタフェースの開発 分散ネットワーク環境における生涯カルテの実現 カルテの構造や診療行為名称等の基本的標準化 	<ul style="list-style-type: none"> IT投資に見合う収益回収の仕組みづくり 		<ul style="list-style-type: none"> 医療と情報技術の両者に精通した専門家の育成
食の安全・安心確保 (36.1%)	食品トレーサビリティ (株)グッドテーブルズ	農作物にRFIDタグなどを取り付け、生産過程や流通過程を記録させる仕組み。問題が起こった際に生産・流通過程のどの段階に原因があったかを突き止めることで2次被害を防ぐことが出来る。現在国産牛肉のみトレーサビリティが義務付けられている。	<ul style="list-style-type: none"> RFID利活用の普及 	<ul style="list-style-type: none"> 悪環境下でも精度を維持出来るRFIDタグ、リーダの開発と低価格化 複雑な流通経路に適用可能なコードやプロトコルの標準化 	<ul style="list-style-type: none"> 履歴情報の利活用が生産者側にメリットを生む仕組みづくり 		<ul style="list-style-type: none"> 農作物の安全性を確保する他の農業ITシステムの確立
ごみの減量化、資源リサイクルの推進 (32.9%)	環境ガードシステム (NPO法人エコテクル)	産業廃棄物にRFIDを貼付し、排出事業者から収集運搬業者、処理業者に至る一連の流通・物流経路、処理工程を可視化することで、不法投棄を防止するシステム。本仕組みの組織的な要となるNPO法人エコテクルは、収集運搬業者・処理業者の審査認定、システム運用を担う。優良業者を排出事業者に見えやすくすること、産業廃棄物にRFID貼付し個体認識させること、排出段階で排出事業者から処理業者に manifests 情報が事前通知されることが強み。	<ul style="list-style-type: none"> RFIDリーダ・ライタをセットした携帯電話の実現 GIS及びGPS車載器を利用した運行管理システムの実現 	<ul style="list-style-type: none"> 移動中の収集運搬車輦内の常時監視(車輦内の産業廃棄物RFIDと位置情報を関連づけた常時読み取り) アクティブタグを用いた一括読み取り RFIDタグの再利用 	<ul style="list-style-type: none"> 収集運搬業者、処理業者が参加するインセンティブづくり(投資対効果の確保) 本仕組みの信用力の確保(本仕組みに加盟することによる排出者責任の回避) 		<ul style="list-style-type: none"> 電子 manifests との連携 知名度の向上による参加事業者の拡大

課題 アンケートより	ソリューション例 (調査対象機関)	概要	これ迄の下支え要因	実用化や普及に向けた課題			
				技術、ネットワーク	ビジネス基盤	利用者の意識、マナー	その他
高齢者に優しい住宅の供給 (30.2%)	みまもりネット (松下電工(株))	一人暮らしの高齢者宅の部屋に設置した赤外線センサーが人の動きを感知し、高齢者の在室状況把握。見守り者の携帯電話に1日1回メールで知らせる。親の生活や生活習慣を熟知した子供が親の生活を“気配”としてさりげなく見守ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> NTTドコモのポケット通信サービス(DoPa)の普及 			<ul style="list-style-type: none"> 親子以外の見守り活動における個人情報の取り扱い基準の明確化 	<ul style="list-style-type: none"> ITとリアルを組み合わせたコミュニケーションの本質の研究 要介護の予防効果の科学的実証 効果的な広報やチャンネルの拡大による商品認知度の向上(必要などになって初めて分かる) 行政による見守り活動自体の啓蒙
自宅や勤務先等からの電子投票の実現 (50.0%)	電子投票 (総務省選挙部自治行政局選挙部管理課)	選挙人が指定された投票所にて電子投票機を用いて投票し、結果が電子機器によって集計される(第一段階)。開票作業の効率化やバリアフリー対策が可能になる。		<ul style="list-style-type: none"> オープンネットワークのセキュリティ技術 ネットワーク上で行える本人認証技術の開発 		<ul style="list-style-type: none"> 情報格差への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 自由な意思による投票の確保
交通渋滞の緩和 (33.0%) 交通事故の削減 (29.2%)	ネットワーク型運 転支援システム	事故そのものを減らすために「予防安全」の考え方に注目。道路交通の安全性向上のためには車単体では限界がある。そこで路車間を通信で結び、車とインフラが協調して安全運転を支援する仕組みが研究されている。	<ul style="list-style-type: none"> ITS実用化に向けた諸技術の開発と適用 	<ul style="list-style-type: none"> 高速で移動する車とでも通信可能な新しい通信技術(現在の周波数帯、通信方式では限界) 安全性や生命に関わる分野のため通信の高い安定性や信頼性確保 技術や仕組みの国際標準化 	<ul style="list-style-type: none"> システム搭載による車全体のコスト上昇に対して普及を促進する対策(インセンティブなど) 	<ul style="list-style-type: none"> システム側が車を強制的に制御することに対する社会的受容性 	
転職・再就職等の支援 (32.5%)	ふるさと.net、U/I ターン情報提供サイ ト (いわみネット(株))	インターネット利用型と対面型のコミュニケーションを織り交ぜたU/Iターン者への情報提供・定住支援サービス。ブロードバンドを利用してよりリアルな情報を提供することで定住を促進し、地域住民との新しい交流から地域を活性化させる。	<ul style="list-style-type: none"> インターネットの普及 	<ul style="list-style-type: none"> 都市部と遜色のない高質なインターネット回線の一層の普及 			<ul style="list-style-type: none"> 地域の活動や事業化を支援する組織の育成とそれらへの経済的支援
多種多様なコンテンツが安全に流通する仕組みづくり (29.3%)	ユビキタスコンテ ンツ流通 ((株)トマデジ)	放送と通信の連携を背景に、テレビをIT端末として考えた双方向サービスが実用化しつつある。消費者のテレビに対する信頼感が高く、ICカードと組み合わせるなどして多様なアプリケーションの展開が期待される。	<ul style="list-style-type: none"> 地上デジタルやブロードバンドの登場 	<ul style="list-style-type: none"> テレビ放送の機材やシステムの共通化によるトラブル回避 信頼性の高い通信ネットワーク(家庭内ネット環境含む) 	<ul style="list-style-type: none"> サービスのクロスオーバー化への対応(適度なセキュリティ、適切なDRM等を備えた環境) 		<ul style="list-style-type: none"> 従来の放送とは異なる利用者ケア(放送と通信の融合によるもの)
効率的な商業システムの構築 (68.4%)	フューチャーストア (独 Metro Extra)	利用者の利便性向上、店舗の運営効率の改善等を目的として、現在利用可能な技術を実店舗への導入で検証する。	<ul style="list-style-type: none"> RFIDや無線LAN等の利活用 	<ul style="list-style-type: none"> バッテリーの長寿命化 精度の高い測位とナビゲーション 消費者が使いやすいユーザインタフェースの開発 		<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の適切な利用 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者のシステム利用の動機付け(ツボを押さえたサービス)

課題 アンケートより	ソリューション例 (調査対象機関)	概要	これ迄の下支え要因	実用化や普及に向けた課題			
				技術、ネットワーク	ビジネス基盤	利用者の意識、マナー	その他
講座内容、募集方法等の情報提供 他 (33.6%)	富山インターネット市民塾 (富山インターネット市民塾推進協議会)	インターネットを利用していつでもどこでもだれでも生徒や講師になれる生涯学習システム。相互に受講し合うなど新しい学習パターンにより地域に眠る知識の顕在化や新しい地域コミュニティの形成により、地域の活性化につながる。	<ul style="list-style-type: none"> インターネットの普及 	<ul style="list-style-type: none"> いつでもどこでもだれでも高質なインターネットを利用できるような環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に根ざしたコミュニティビジネスの立ち上げなど経済的自立 		<ul style="list-style-type: none"> 地域内の知識交流が経済活性化に与える効果の検証 人間関係や知識など目に見えない資本を定量的に評価する仕組み IT ボランティア等の人材育成
トータルコストの削減やリードタイムの短縮等 (63.2%)	アパレル業界サプライチェーン実証実験 ((社)日本アパレル産業協会)	アパレルメーカーから店頭並ぶまでの流通経路における商品管理のため、製品の一枚一枚に RFID を付けた実験を実施。タグやリーダのメーカー間の互換性を確保するため、オープンな仕様づくりが意図された。	<ul style="list-style-type: none"> RFID 利活用の普及 	<ul style="list-style-type: none"> RFID タグ読み取り時のノイズ対策 業界横断的なタグの標準化 	<ul style="list-style-type: none"> IT を組み込んだ業務フローのリデザイン 		